

I 事業計画

1980年に開始した外国人研究者への研究奨励金交付事業は2025年度で45年目を迎えた。この間、本財団が来日支援した外国人研究者の数は、世界120ヵ国・地域より901名となった。研究奨励金制度への応募件数は増加傾向にあり、本財団の事業に対して世界中から多くの関心が寄せられている。

1. 研究奨励金交付事業

交付対象者には、研究奨励金として、研究滞在費月額22万円、来日一時金12万円、旅費および旅行者保険が支給される。コロナ禍や戦争等の影響で来日が遅れている過年度交付対象者についても、本人等からの辞退がない限り研究奨励金交付事業の対象とする。

(1) 研究奨励金交付対象者

<2020年度> 2ヵ国2名（男性2名）

01. 国 籍：オマーン

受入機関：東海大学

滞在期間：4ヵ月間

02. 国 籍：ロシア

受入機関：東北大学

滞在期間：4ヵ月間

<2021年度> 1ヵ国1名（女性1名）

01. 国 籍：ロシア

受入機関：東海大学

滞在期間：6ヵ月間

<2023年度> 1ヵ国1名（男性1名）

01. 国 籍：チュニジア

受入機関：名古屋大学

滞在期間：6ヵ月間

<2024年度> 1ヵ国1名（女性1名）

01. 国 籍：パキスタン

受入機関：鳥取大学

滞在期間：6ヵ月間

<2025年度>

2025年度研究奨励金制度に、47ヵ国より162件の応募があった。研究奨励金交付対象者を選考するため、奨学者審査委員会による厳正な審査が行われた。その結果、11ヵ国13名の対象者が選考された。

以下13名（男性11名・女性2名）の来日を支援する予定である。

01. 国 籍：カメルーン
受 入 機 関：上智大学
研 究 期 間：6 ヲ月間
02. 国 籍：エチオピア
受 入 機 関：筑波大学
研 究 期 間：6 ヲ月間
03. 国 籍：パキスタン
受 入 機 関：東北大学
研 究 期 間：6 ヲ月間
04. 国 籍：エジプト
受 入 機 関：東北大学
研 究 期 間：6 ヲ月間
05. 国 籍：マレーシア
受 入 機 関：九州工業大学
研 究 期 間：6 ヲ月間
06. 国 籍：アルゼンチン
受 入 機 関：海洋研究開発機構
研 究 期 間：6 ヲ月間
07. 国 籍：スペイン
受 入 機 関：長岡技術科学大学
研 究 期 間：5 ヲ月間
08. 国 籍：エジプト
受 入 機 関：筑波大学
研 究 期 間：6 ヲ月間

09. 国 籍：パキスタン
受 入 機 関：静岡大学
研 究 期 間：6 ヶ月間
10. 国 籍：トルコ
受 入 機 関：東京大学
研 究 期 間：6 ヶ月間
11. 国 籍：ブルキナファソ
受 入 機 関：静岡大学
研 究 期 間：6 ヶ月間
12. 国 籍：クロアチア
受 入 機 関：名古屋市立大学
研 究 期 間：6 ヶ月間
13. 国 籍：ジンバブエ
受 入 機 関：神戸大学
研 究 期 間：6 ヶ月間

(2) 来日時ガイダンス

研究奨励金交付対象者（以下奨学者）に対しガイダンスを実施する。住民登録や国民健康保険への加入、滞在中の日本国法令の遵守などの説明、一回目の研究奨励金、来日一時金の支給、海外旅行保険証の交付等を行う。

(3) 東京ミーティング

奨学者は、国内研修旅行や修了式を通じて、奨学者同士の相互理解・友好関係が深まり、さらに日本での研究終了後も奨学者間の共同研究が始まる事が少なくない。

そこで、日本滞在中に奨学者が一同に会する場を提供して、奨学者同士の相互理解と友好関係をより強固にしてもらい、ひいては財団設立当初より取り組んでいる世界の恒久平和と発展に向けた一助となるように本会を開催する。

(4) 修了式の開催

研究滞在を終え離日する奨学者に対し、本財団レセプションルームにて開催し、修了証書及び記念のメダルを授与する。また、奨学者から滞在中の成果報告や日本滞在の感想等を発表してもらう。

2. 国内研修旅行の実施

本財団設立当初より重要な行事として行っている。可能な限り全奨学者が参加できるように年度内に複数回実施する。訪問先は広島（平和公園・原爆資料館等）を予定しており、我が国の文化、伝統、歴史等への理解を深めるとともに、科学技術の平和利用、世界の平和について考える機会を提供する。

3. その他研究奨励金交付事業に関連した事業

(1) 2026年度研究奨励金制度の募集・選考

- 採択者数：15名前後
- 支給期間：6ヶ月間（2026年6月～2027年3月の間）
- 支給内容：研究滞在費月額22万円、来日一時金12万円、旅費及び旅行者保険
- 募集方法：「募集要項」を和文・英文で作成し、2025年1月より本財団ホームページ上で公開
- 募集期間：日本時間 2025年6月1日～2025年6月30日
- 選考方法：奨学者審査委員会による選考

(2) 会報/Newsletterの発行

奨学者と財団及び関係者を結ぶ和英刊行物として発行し送付する。

(3) 奨学者名簿(Fellowship Directory)の発行

奨学者を年度毎に掲載し、毎年発行する。

(4) 受入れ研究機関訪問

奨学者の受入れ研究機関を訪問し、受入れ教員・研究員との面談を通し、研究環境の視察、両者から要望、意見等を伺い、研究奨励金交付事業の改善に繋げていく。

(5) 修了奨学者に対する再来日の支援について

奨学者が、国際会議等に参加するなど、学術目的で再来日する際に、予算に応じて、旅費の補助を行う。

(6) 事業活動の紹介・広報について

研究奨励金交付事業について、活動状況・成果を広く内外に広報する。

- 在日外国公館や受入れ実績のある研究機関等への資料配布
- 国内外向け広報誌として会報/Newsletterの発行
- ホームページの運用 <https://www.mif-japan.org>

II 管理運営

1. 建物と庭園・土地の維持・管理について

本財団は、故足利澄様（故足利惇氏^{あつうじ}氏夫人）より寄贈を受けた土地（東京都杉並区上荻）に数寄屋造りの木造建物と日本庭園を有している他、庭園の隣地を所有している。

建物内には事務所と奨学者を迎えるレセプションルームを備えており、修了式等を開催している。また、奨学者のみならず全ての訪問者に数寄屋造りの日本家屋並びに日本庭園に直に触れて頂く機会を提供する。そのために建物及び庭園等を適切に、維持・管理する。

2. 会議体の運営

本財団定款に基づき理事会、評議員会、奨学者審査委員会等を開催する。

3. 基本財産の運用

本財団の活動は、原則、基本財産運用から得る受取利息配当金収入により支えられている。金融商品の購入については、資産運用規定に基づき運営委員会にて審議し、商品を選定する。

4. 運営委員会の開催

事業遂行上、重要な事項について審議・検討・報告のため、理事長を委員長とする運営委員会を毎月開催する。

5. 業務月報の作成

研究奨励金交付事業の動向、管理事務状況等を要約した業務報告を毎月作成し、運営委員会で報告する。

6. 経理業務

上倉公認会計より、四半期毎に事務所内での財務書類チェック、および財務、会計に係わる業務の助言と指導を受ける。また、全国公益法人協会など関連団体が主催するセミナーなどに参加して公益法人として必要な情報を入手する他、公益法人用経理ソフトウェアを必要に応じてアップデートし、適法な経理につとめる。

以 上

収支予算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益財団法人 松前国際友好財団

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	74,965,000	73,405,674	1,559,326
基本財産受取利息配当金	74,385,000	72,825,674	1,559,326
受取配当金	580,000	580,000	0
受取会費	400,000	400,000	0
受取寄付金	350,000	400,000	△ 50,000
雑収益	1,000	1,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
経常収益計	75,716,000	74,206,674	1,509,326
(2) 経常費用			
事業費	55,473,000	56,564,000	△ 1,091,000
研究奨学金	21,610,000	22,905,000	△ 1,295,000
役員報酬	734,000	630,000	104,000
給料手当	9,713,000	9,251,000	462,000
賞与手当	1,685,000	1,500,000	185,000
退職給付費用	450,000	500,000	△ 50,000
福利厚生費	2,114,000	1,994,000	120,000
支払報酬	1,150,000	948,800	201,200
会議費	180,000	1,741,200	△ 1,561,200
旅費交通費	10,520,000	10,372,000	148,000
通信運搬費	406,000	517,000	△ 111,000
減価償却費	880,000	800,000	80,000
消耗品費	101,000	116,000	△ 15,000
修繕費	638,000	638,000	0
広報費	1,985,000	1,385,000	600,000
印刷製本費	530,000	630,000	△ 100,000
維持管理費	757,000	746,000	11,000
光熱水料費	172,000	166,000	6,000
賃借費	123,000	108,000	15,000
公租公課	963,000	942,000	21,000
賞与引当金繰入	590,000	570,000	20,000
雑費	172,000	104,000	68,000
管理費	22,453,000	20,983,000	1,470,000
役員報酬	1,713,000	1,470,000	243,000
給料手当	7,997,000	7,000,000	997,000
賞与手当	1,137,000	866,000	271,000
退職給付費用	250,000	300,000	△ 50,000
福利厚生費	721,000	657,000	64,000
支払報酬	1,400,000	1,440,000	△ 40,000
会議費	350,000	350,000	0
旅費交通費	68,000	71,000	△ 3,000
通信運搬費	337,000	379,000	△ 42,000
減価償却費	2,350,000	2,800,000	△ 450,000

公益財団法人 松前国際友好財団

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
消 耗 品 費	92,000	105,000	△ 13,000
修 繕 費	1,448,000	1,448,000	0
広 報 費	680,000	80,000	600,000
印 刷 製 本 費	135,000	135,000	0
維 持 管 理 費	571,000	730,000	△ 159,000
光 熱 水 料 費	138,000	182,000	△ 44,000
賃 借 費	111,000	98,000	13,000
公 租 公 課	2,203,000	2,132,000	71,000
賞 与 引 当 金 繰 入	340,000	330,000	10,000
雑 費	412,000	410,000	2,000
経常費用計	77,926,000	77,547,000	379,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,210,000	△ 3,340,326	1,130,326
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,210,000	△ 3,340,326	1,130,326
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,210,000	△ 3,340,326	1,130,326
一般正味財産期首残高	3,568,583,718	3,556,443,489	12,140,229
一般正味財産期末残高	3,566,373,718	3,553,103,163	13,270,555
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,566,373,718	3,553,103,163	13,270,555

収支予算書内訳表

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益財団法人 松前国際友好財団

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	46,805,000	28,160,000	74,965,000
基本財産受取利息配当金	46,225,000	28,160,000	74,385,000
受取配当金	580,000	0	580,000
受取会費	400,000	0	400,000
受取寄付金	350,000	0	350,000
雑収益	0	1,000	1,000
受取利息	0	1,000	1,000
経常収益計	47,555,000	28,161,000	75,716,000
(2) 経常費用			0
事業費	55,473,000		55,473,000
研究奨学金	21,610,000		21,610,000
役員報酬	734,000		734,000
給料手当	9,713,000		9,713,000
賞与手当	1,685,000		1,685,000
退職給付費用	450,000		450,000
福利厚生費	2,114,000		2,114,000
支払報酬	1,150,000		1,150,000
会議費	180,000		180,000
旅費交通費	10,520,000		10,520,000
通信運搬費	406,000		406,000
減価償却費	880,000		880,000
消耗品費	101,000		101,000
修繕費	638,000		638,000
広報費	1,985,000		1,985,000
印刷製本費	530,000		530,000
維持管理費	757,000		757,000
光熱水料費	172,000		172,000
賃借費	123,000		123,000
公租公課	963,000		963,000
賞与引当金繰入	590,000		590,000
雑費	172,000		172,000
管理費		22,453,000	22,453,000
役員報酬		1,713,000	1,713,000
給料手当		7,997,000	7,997,000
賞与手当		1,137,000	1,137,000
退職給付費用		250,000	250,000
福利厚生費		721,000	721,000
支払報酬		1,400,000	1,400,000
会議費		350,000	350,000
旅費交通費		68,000	68,000
通信運搬費		337,000	337,000
減価償却費		2,350,000	2,350,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
消 耗 品 費		92,000	92,000
修 繕 費		1,448,000	1,448,000
広 報 費		680,000	680,000
印 刷 製 本 費		135,000	135,000
維 持 管 理 費		571,000	571,000
光 熱 水 料 費		138,000	138,000
賃 借 費		111,000	111,000
公 租 公 課		2,203,000	2,203,000
賞 与 引 当 金 繰 入		340,000	340,000
雑 費		412,000	412,000
経常費用計	55,473,000	22,453,000	77,926,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,918,000	5,708,000	△ 2,210,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,918,000	5,708,000	△ 2,210,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,918,000	5,708,000	△ 2,210,000
一般正味財産期首残高	2,139,011,848	1,429,571,870	3,568,583,718
一般正味財産期末残高	2,131,093,848	1,435,279,870	3,566,373,718
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	2,131,093,848	1,435,279,870	3,566,373,718